



イラスト 川口澄子

深山に生える樹木のトチは、もともと「橡」と書きましたが、画数が多く覚えにくい漢字なので、日本ではいつごろからか、トチという発音に基づいて「十」と「千(ち)」と分解し、「十と千を掛けると万」になることから、「枋」と書くようになりました。その「枋」の字形が、のちに「枋」に変わったと考えられています。



③枋

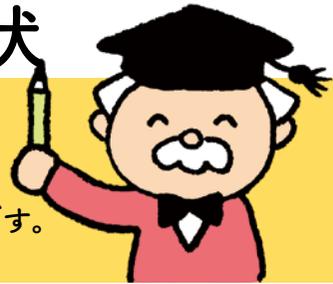
日本人が独自に作った和製漢字を「国字」といいます。たとえばイワシや、タイ、カツオ、マグロなどの魚は、中国古代文明の中心だった黄河にはいませんから、中国人がその魚を表す文字を作るはずはありません。しかし、日本ではそれらの魚を表す文字が必要だったことから、鰯・鯛・鯉・鮪という国字が作られました。国字には他に、中国の漢字を日本人が作りかえたものもあります。



次の漢字のうち、日本で作られたものはどれでしょう。

- ①京
- ②静
- ③枋
- ④賀

## カンジー博士の挑戦状



解説



京都大学名誉教授

阿辻哲次 あつじ・てつじ

専門は中国文化史、中国文字学。著書に『戦後日本漢字史』(筑摩書房)、『漢字のはなし』(岩波書店)など。光村図書小学校・中学校『国語』編集委員。

カンジー博士から、小学校で学習する漢字に関するクイズが届きました。子どもたちにも話したくなる解説付きです。



↓  
年  
↓  
年

漢字で表すようになったのです。穀物の収穫が年に一度であることから、「年」という漢字で表すようになったのです。

象的な概念、特に時間や方向などを文字で表すことは、なかなか困難です。そこで、古代中国人は、地球が太陽のまわりを一周する、英語では「year」と呼ばれる時間の単位を、穀物の収穫が年に一度であることから、「年」という漢字で表すようになったのです。



②豊作

時間の単位として使われている「年」は、「実った穀物を人が背負っているさま」を表し、本来は「穀物の豊かな収穫」という意味でした。ウマやシカ、あるいは山や太陽など、目に見える形があるものは、それを絵画的に描いて象形文字とすることができますが、目に見える形がない抽象的な概念、特に時間や方向などを文字で表すことは、なかなか困難です。



「年」は、何を表している形から生まれた漢字でしょうか。

- ①老人
- ②豊作
- ③時間
- ④天体